

2012 News

平成24年4月1日～平成24年9月30日

Contents

- トップメッセージ
- アンケート結果
- 特集
- 財務ハイライト
- トピックス
- セグメント別事業概況
- 会社概要



トップメッセージ

新分野への参入で環境適応力を高め 持続的な成長を目指します

代表取締役社長

洞下 英人



当上半期の概要について お聞かせ下さい。

Q1

A1 当社グループの第2四半期累計期間の実績は、売上高が68億14百万円(前年同期比4.3%増)、経常利益は3億40百万円(同65.8%増)となりました。東日本大震災の復旧・復興に向けた修復工事関連がインフラ等の復旧の遅れなどから伸び悩み、センサー事業は前期の需要増加の反動から一服感が見られ低調でした。一方、建物の外壁補修分野とFRPシート関連製品が好調に推移し、また太陽光関連製品の引き合いは好調に推移し受注も増えてきました。その結果、売上面では計画を上回り、前年同期を上回りました。

当上半期の特徴として、既存製品の販売が小幅に増加すると共に、新製品の販売が伸びている点や、従来とは異なる分野での販路が拡大している点が挙げられます。収益面では、コストダウンの継続や自社製品の販売比率の拡大により利益率が向上し、計画を上回る結果となり、増収増益となりました。

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社 是

創り、活かし、満たす
— 人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす —

社 訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを
目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定



通期の見通しについてはいかがですか。

Q2

A2 売上面では、FRPシート関連製品や太陽光関連の需要増加、また民間設備投資の持ち直しに伴う建設関連製品の需要回復に期待しています。一方で、経済環境が依然として不透明ななか、建設資材や人材不足等に伴う工事の遅延が懸念されます。新商品や新分野での販売強化によって伸び悩んでいる分野を補完することも含め、計画を達成して次のステップに進む方針であり、通期の業績予想は変更していません。

中期経営計画も含め、取り組まれている施策について教えてください。

Q3

A3 中期経営計画については、定量目標は着実にステップを踏んでいると考えます。

環境分野では、再生可能エネルギーが注目される中、太陽光関連製品「あと基礎アンカー」や「ディー・アーススクリュー」が伸張しております。設置場所の調査から施工、確認試験までのシステム提案や施工工具の特徴を活かした施工のメリットを打ち出していることで、大型案件の受注に繋がっています。

安全・安心分野では、アルコール測定器とタブレットPCやスマートフォンを連動させてた勤怠管理を行える新システムを開発し、福祉医療や一般企業などへの展開を図ってまいります。

また、耐震補強工事や設備投資などは東北の復興ペースに影響を受け伸び悩んでおりますが、徐々に回復すると期待しています。

今後は造船業界等の工業用ファスナーなど、新しい分野への参入も視野に入れています。再生可能エネルギーの全量買取制度の施行により、太陽光関連製品の売上が伸びたように、環境の変化に即応し既存の分野だけではなく、新分野での事業展開を図ってまいります。当社が培ってきたノウハウを活かし、新しい分野においても「より安全で、より施工しやすい」製品開発を行い、お客様に提供してまいります。

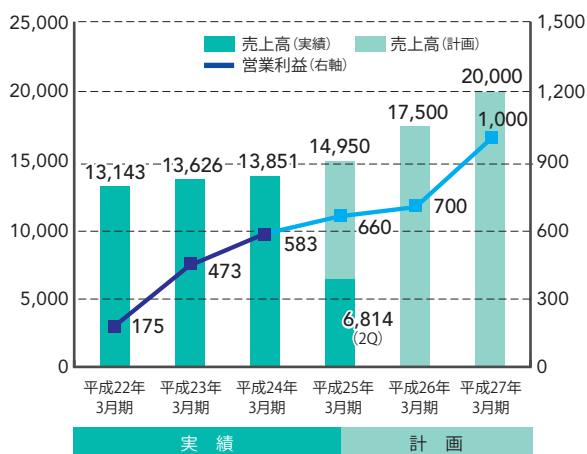
製造面では、既存製品は引き続きタイ工場（サンコーファステムタイランド）を活用していきますが、日本国内の工場では新製品の製造にシフトする体制を整えてまいります。

また事業を拡大させるなかで、人材育成にも注力し、幅広い製品知識や提案スキルの向上に努めます。

中期経営計画（チャレンジ35）の達成に向けて、引き続き3つの改革を進めながらも、新分野への参入など新たな試みにも積極的に挑戦してまいります。

●中期経営計画の進捗と計画

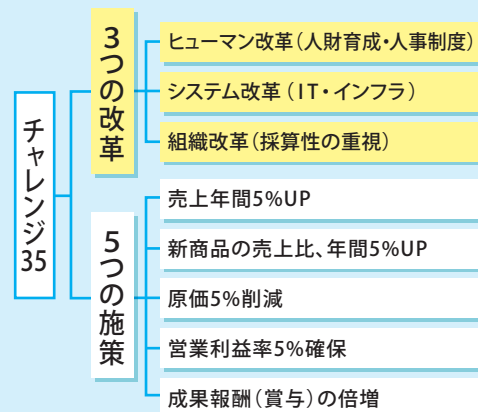
（単位：百万円）



中期経営ビジョン・戦略 PLAN2014



経営スローガン・チャレンジ35





最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。Q4

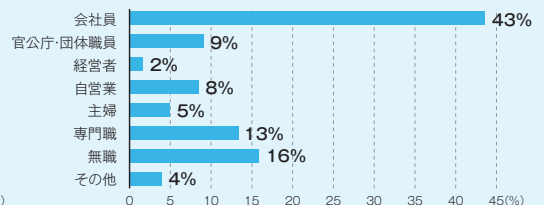
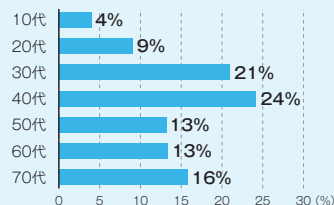
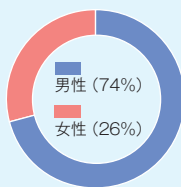
A4 当社は様々な分野において事業を展開しており、お客様からのご支持を得ながら、市場環境の変化に対応できることが強みであると考えます。持続的な成長のためには環境適応力は企業にとって必要不可欠です。環境に適した製品を生産し、お客様のニーズに応える事が重要であり、「安全・安心・環境」にこだわった製品をご提供してまいります。市場変化が激しいなか、新たな分野で成果を上げるには時間がかかりますが、「人のお役に立てる」ように社員一同引き続き精進してまいります。

長期的な観点から、当社グループの成長を見守って下さいますよう、何卒、よろしくお願いいたします。

株主様アンケート結果のご報告

本誌「IR News」第48期事業のご報告において実施させていただきました、「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下にアンケート結果の一部をご報告いたします。

▶ ご回答者様の属性等



▶ アンケート回答結果

Q1. 当社のIRニュースの感想はいかがですか？

とてもわかりやすかった	26%
わかりやすかった	62%
どちらでもない	11%
わかりにくかった	0%
とてもわかりにくかった	0%

Q4. 当社株式購入の理由は何ですか？ (複数回答)

将来性・成長性	42%
安定性・業界トップシェア	32%
経営トップの考え	8%
商品開発力・技術力の高さ	28%
財務内容	10%
配当性向・配当利回り	27%
その他	3%

Q7. 当社のIR活動についての評価を教えてください。

満足	18%
まあまあ満足	54%
どちらでもない	23%
やや不満	4%
不満	1%

Q2. 特に興味を持ったページはどこですか？ (複数回答)

トップメッセージ	39%
特集	53%
財務ハイライト	30%
セグメント別事業状況	18%
トピックス	9%

Q5. 当社に対する不満はありますか？ (複数回答)

業績	5%
株価	23%
配当	10%
認知度	30%
出来高・流動性	14%
商品 PR	7%
特になし	32%
その他	2%

Q3. 今後、当社に何を期待しますか？ (複数回答)

安定的な収益	51%
積極的な事業拡大	22%
株主への利益還元	46%
株主優待の実施	40%
工場見学(説明会)の実施	10%
その他	1%

Q6. 当社ホームページ、IRサイトについてご感想はいかがですか？

とても見やすい	7%
見やすい	48%
どちらでもない	21%
見にくい	1%
とても見にくい	0%
見たことが無い	23%

【IR担当者より】

ご回答いただいた株主様の88%より「わかりやすかった」との評価をいただきました。これからも弊社のことをわかりやすくご理解いただくための誌面作りと、情報提供を心がけてまいります。また弊社の認知度を上げるべく、さらにIR活動を積極的に展開し、株主様にご満足いただけるよう努力してまいります。皆様からいただきましたアンケート結果、貴重なご意見は、引き続き当社グループの経営方針やIR活動の参考とさせていただきます。

特集

アルコール測定器・IT点呼システムについて

現在、トラックやバス等の自動車運送事業者（緑ナンバー）のドライバーを対象として、点呼時の酒気帯び確認のためにアルコール測定器を使用することが義務付けられています。これにあわせ運送事業者では、事業所ごとにアルコール測定器が導入されています。

当社では、呼気アルコール測定器「SG358-S」を初め、各種データ管理システムをご提供してきました。この度、お客様からのご要望を受け、操作性の簡便なタブレットPCやスマートフォンを利用して、アルコール測定器と連動させた勤怠管理システム「ALC Guardian for タブレット」と「ALC Guardian for スマートフォン」の2つの新たなシステムを開発しました。

◆「ALC Guardian for タブレット」

呼気アルコール測定器『DA-9000J』をタブレットPCと連動させ、アルコール測定と勤怠管理を行えるシステムです。

◆「ALC Guardian for スマートフォン」

呼気アルコール測定器『DA-9000J』をスマートフォンと連動させ、長距離ドライバー等が出先で測定した結果を送信し、リアルタイムに測定結果を閲覧できるシステムです。

勤怠管理システムを連動させることで、物流事業者のアルコール測定器買替え需要や福祉医療・公務員・一般企業と言った国内法人企業へのPRを行い販路拡大を目指しております。

呼気アルコール測定システム ALC Guardian for タブレット アルコールタイアン 勤怠とアルコール測定を一括管理



- ① 誰でも簡単に勤怠とアルコール測定が可能
- ② 勤怠とアルコール測定がクラウドで管理可能
- ③ 貴社専用ログインサイトで編集・承認等が可能
- ④ 低価格なイニシャルコスト・ランニングコスト

呼気アルコール測定システム ALC Guardian for スマートフォン アルコールタイアン スマートフォンでアルコール測定



- ① スマートフォン接続でアルコール測定が可能
- ② 外出先で用意にアルコール測定が可能
- ③ リアルタイムに測定結果を送信
- ④ 燃料電池式(電気化学式電解液タイプ)を採用

呼気アルコール測定器 SG358-S プリンターで記録保存

呼気アルコール測定システム ALC Guardian Neo アルコールタイアン ネオ PCでデータ管理

呼気アルコール測定システム ALC Guardian Net アルコールタイアン ネット

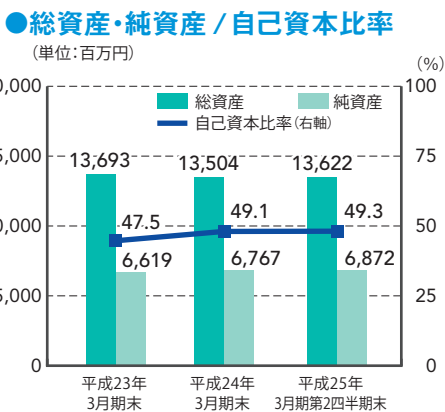
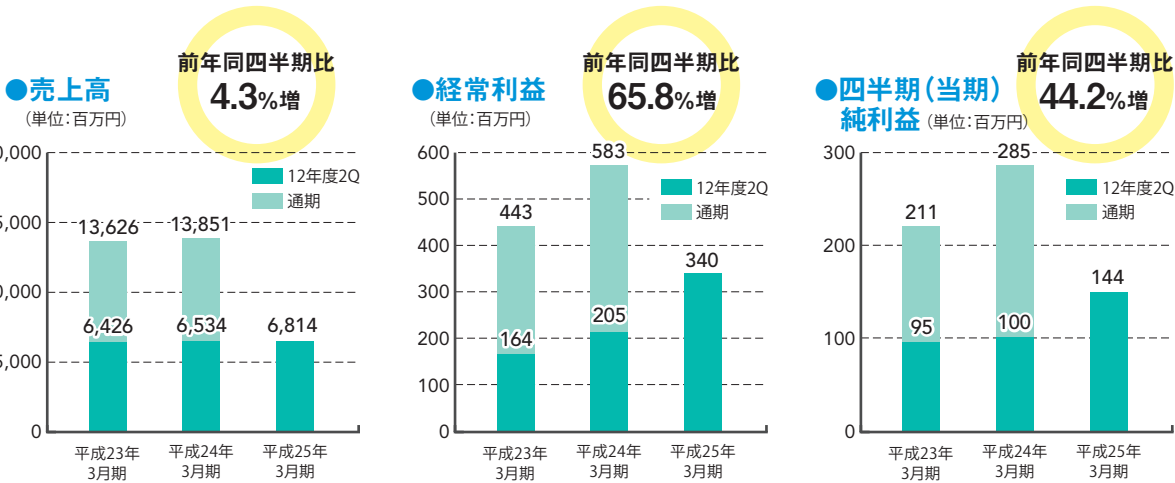
呼気アルコール測定システム ALC Guardian SV アルコールタイアン サーバー 複数事業所のデータを一元管理

財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに各事業部において新製品の開発に注力しました。当第 2 四半期連結累計期間の売上高は

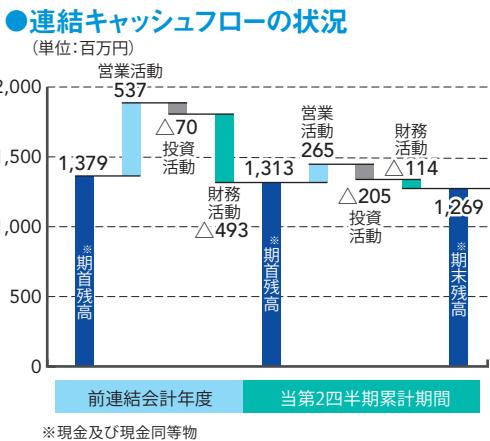
6,814 百万円（前年同四半期比 4.3% 増）、経常利益は 340 百万円（同 65.8% 増）、四半期純利益は 144 百万円（同 44.2% 増）となりました。

※平成23年3月期の連結財務諸表につきましては、会計方針の変更等により一部を修正しています。



●連結損益計算書(要約)
(当第2四半期累計期間:平成24年4月1日～平成24年9月30日 前第2四半期累計期間:平成23年4月1日～平成23年9月30日)
(百万円)

科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増 減
売 上 高	6,814	6,534	4.3%
営 業 利 益	354	228	55.1%
経 常 利 益	340	205	65.8%
当期純利益	144	100	44.2%



●連結貸借対照表(要約)
(当第2四半期:平成24年9月30日現在 前期:平成24年3月31日現在)
(百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末	増 減
流 動 資 産	7,431	7,387	0.6%
固 定 資 産	6,190	6,117	1.2%
資 産 合 計	13,622	13,504	0.9%

科 目	当第2四半期末	前 期 末	増 減
流 動 負 債	5,566	5,445	2.2%
固 定 負 債	1,184	1,291	△8.3%
純 資 産	6,872	6,767	1.5%
負債・純資産合計	13,622	13,504	0.9%

※現金及び現金同等物

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。



リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。



センサー事業

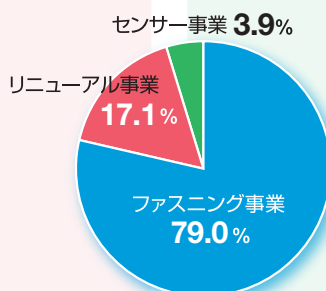
車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。



●セグメント別売上高構成

(平成25年3月期 上半期)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。



当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れがでましたが、先送りされていた耐震関連工事の発注が一部回復してきたほか、首都圏における再開発需要を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が順調に推移しました。

●売上高
5,414 百万円
●セグメント利益
364 百万円

FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が順調に推移しました。また、中規模の太陽光発電物件の受注が好調に推移しました。

●売上高
1,173 百万円
●セグメント利益
7 百万円

電子基板関連で医療向けの製品が好調に推移しましたが、アルコール測定器の売上が伸び悩みました。

●売上高
269 百万円
●セグメント利益
△31 百万円

Topics



国際物流総合展 2012 出展

(2012年9月11日～14日/東京ビッグサイト)

国際物流総合展は、2年に一度開催される物流業界最大の展示会で、一昨年に引き続き、センサー事業部のアルコール測定器を出展。今回は新システムの「ALCGuardian for スマートフォン」「ALCGuardian for タブレット」やALCGuardianシリーズをPRしました。(システムの詳細については特集に掲載)

エンジニアリング協会 功労者賞受賞

(2012年7月18日)

エンジニアリング功労者賞は、エンジニアリング産業に関与し、その活動を通じエンジニアリング産業の発展に著しく貢献したグループ(チーム)および個人を対象に表彰されるものです。ゼネコンと共同開発した「MaSTER FRAME構法」が中小規模プロジェクトを対象とした特別枠として、受賞しました。



日本建築工学会 2012年 学会賞授賞式



日本建築工学会 学会賞「技術賞」受賞

(2012年5月15日)

同賞は、建築全般に関する工学分野の進歩発展を図るとともに、広く建築業界の発展と公共の福祉に貢献するため、設けられた表彰制度で顕著な功績・業績を挙げた方を対象としています。

免責事項

本資料の将来に係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

会社概要

(平成24年9月30日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	297名(連結551名)
所在地	千葉県流山市東初石六丁目183番1 TEL 04-7178-5535 FAX 04-7178-5557
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、防水材、各種測定器の企画開発・ 製造・販売・施工及び輸出入

役員

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
取締役	上石 茂行
取締役	佐藤 靖
監査役	甲斐 常敏
監査役	鈴木 英雄
監査役	塙 善光

関連会社

連結子会社

SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
三幸商事顧問股份有限公司
株式会社IKK
アイエスエム・インタナショナル株式会社
株式会社スイコー

SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.

持分法適用関連会社 株式会社サンオー

持分法非適用関連会社 株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	8,500,000株
発行済株式の総数	2,186,352株
株主数	887名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	286	13.09
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.23
濱中ナット販売株式会社	170	7.78
有限会社サンワールド	168	7.68
サンコーテクノ社員持株会	131	5.99
武藤 昭二	93	4.27
新井 栄	65	2.99
洞下 照夫	53	2.45
株式会社みずほ銀行	44	2.03
佐久間 菊子	41	1.91

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式(151千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	
特別口座の	みずほ信託銀行株式会社
口座管理機関	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

お問い合わせ先

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の 証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については 右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お 問い合わせ先・各種手続 きお取扱店をご利用くだ さい。	特別講座では、単元未満株式の買 取以外の株式売買はできません。証 券会社等に口座を開設し、株式の振 替手続を行っていただく必要があり ます。

Web Information

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して、企業
情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示をしており
ます。当社をより理解していただくためにも、ぜひアクセスを
お願いいたします。



<http://www.sanko-techno.co.jp/>

サンコーテクノ株式会社

〒270-0114 千葉県流山市東初石六丁目183番1



この冊子は環境保全のため、
植物インキとFSC®認証紙を
使用しています。